佐野短期大学シラバス2016

	科目名 Course Name	開講年次	開講学期	曜日・時限	
Culture Studies I		2年	前期	別途、時間割参照	
Culture Studies I					
単位数	授業の形態		授業の性格	履修上の制限	
1単位	演習	選択	(特になし)	特になし	

当該科目の理解を促すために受講しておくことが望まれる科目

特になし

同時に履修しておくことが望まれる科目

英会話III

担当者に関する情報						
氏名	研究室の場所	オフィスアワー	電話番号・メールアドレス			
J. デイリー	非常勤講師室	授業中に指示します。	授業中に指示します			

授業の概要

この科目は、アカデミック・イングリッシュ科目です。Academic Englishというのは、目的が英語の勉強ではなく、それどころか英語を利用して別のことを勉強する。このCulture Studies Iのトピックは、ヨーロッパの国々の文化・地理・生活です。

授業の目標

- ①ヨーロッパのことについて知識を増やして、それのついて簡単なディスカッションすることができるようにする。
- ②情報収集してから、分かりやすいレポートを書くことができるようにする。
- ③長文から要点を速やかに把握することができるようにする。

授業の方法

演習科目で、学生はヨーロッパの国々について記事を読んだり、ビデオを見たりします。そして、その内容について、ディスカッションをして、レポートを書きます。

学習の成果 (学習成果)

- ①1文化等について記事の要点を把握できる。
- ②ヨーロッパの国々の文化等について情報収集して、英語でレポートを書くことができる。
- ③学生が外国に行なう社会科目の授業に参加することができる。

授業のスケジュールと内容				
第1回目	Introduction to the course General knowledge about Europe			
第2回目	France: geography and culture			
第3回目	France:history and customs			
第4回目	Spain: geography and culture			
第5回目	Spain: history and customs			
第6回目	Review of part 1 of the course			

第7回目	Italy: geography and culture					
第8回目	Italy:history and customs					
第9回目	Greece: geography and culture					
第10回目	Greece: history and customs					
第11回目	Turkey: geography and culture					
第12回目	Turkey: history and customs					
第13回目	Germany: geography and culture					
第14回目	Germany: history and customs					
第15回目	Review of part 2 of the course					
成績評価の方	法と基準					
評価の	り領域	割合	評価の基準			
授業参加態度		40%	授業中、日本語を使うことを避けて、教員とクラスメートと一緒に英語でディスカッションをすることに努力する。			
レポート		30%	自分で決めたトッピク二ついて情報収集して、分かりやすく文章で伝えることができる。			
調査報告書						
小テスト 30%		30%	勉強した文化、地理等のことを理解して、設問を英語で答えることができる。			
試験						
発表内容 (態度含む)						
その他						
教科書と参考	巡書					
プリントを配布する。						
履修上の留意点・ルール						
/区/ジエヤ 田心	点・ルール					